

◆ 文学散歩 ◆

◇ 神奈川近代文学館「佐野洋子展」◇

◇ 横浜市史資料室「戦後 70 年戦争を知る、伝える—横浜の戦争と戦後」展示 ◇

報告 演奏学科 1 年 吉満みなみ

読書運動プロジェクトに入会してから約 4 か月がたった 9 月 11 日、待ちに待った夏のイベント文学散歩に参加しました。文学散歩とは読書運動プロジェクトの夏のイベントで著者のゆかりの土地や小説で舞台となった場所などを見学します。今回参加したのは『100 万回生きたねこ』で有名な絵本作家佐野洋子さんの「まるごと佐野洋子展」と、読書運動プロジェクトの来年度のテーマ「平和を考える」にちなんで横浜中央図書館内の資料室にて行われていた「戦後 70 年戦争を知る、伝える—横浜の戦争と戦後」の展示会を見てきました。

一つ目に訪れた神奈川近代文学館にて行われていた「まるごと佐野洋子展」、入り口には『100 万回生きたねこ』の登場人物トラ猫と白い猫の絵が壁一面に描かれていて、幼い時に小学校の図書館でこの本を手にとった時のワクワクとした思い出がよみがえってくるようで感動しました。その他にも展示会では佐野洋子さんの生い立ちや過去の作品などを展示しており、佐野洋子さんが猫好きなことや作品を生み出す経緯などを知ることができ、とても充実した時間を過ごすことができました。



二つ目に訪れた横浜中央図書館での展示会では横浜というきれいな土地が戦争時代にもどのような被害を受けたのか、70 年たった今戦争という恐ろしさを知らない私たち若い世代にこの展示会での様々な想いが文章から伝わってくるようで、横浜の歴史を知れたことへの喜びと壮絶な過去の事実複雑な思いに駆られました。この二つの文学散歩を通し今まで表面でしか知りえなかった文学の世界や横浜の歴史、また普段ミーティングでしか顔をあわせない同じメンバーとの交流など大学生活にやっと慣れてきた私にとってとてもいい経験となりました。今後も読プロの一員として様々な活動に参加して行きたいと思いました。

横浜の戦時中・戦後の歴史を改めて知り、考える機会となりました！



小さい頃に読んでもらった作品で懐かしかったです！